

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 18号)

平成31年 3月22日発行
 兵庫のみ研究所

今回調査は上げ潮時ということもあり、大阪湾から流入する海水の影響が二見東部周辺まで見られました。窒素は、陸水等の影響を受けていた調査地点を除き二見東部以東で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、二見西部以西で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。キートセロス等数種の珪藻が確認されますが、発生量は前回 (3/14) 調査時より少なく海域全般に少ない状況で推移しています。

(水温) 漁場内平均 11.4°C 。平年比 1.4°C 、昨年比 2.4°C それぞれ高い。**(塩分)** 平均 31.83psu 。前回 (31.23) より 0.6psu 高い。**(栄養塩、珪藻)** 大阪湾は全般に栄養塩が低い状況にあり、明石海峡部周辺海域の窒素は $2 \mu\text{g-at/L}$ 台と減少している。この海域においても、その海水の影響が及んでいた二見東部以東の漁場で窒素は $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後であった。珪藻は海域全般に少ない状況が続いているが、降雨による大きな栄養塩供給が暫く無いことや、明石海峡部周辺の栄養塩が低調であることからこの海域全体的に窒素の値がベースダウンしている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.5	11.4	10.0	9.0
窒素	2.9	4.1 ※	3.0	3.6
リン	0.29	0.28	0.26	0.37

(3/14) (3/22)

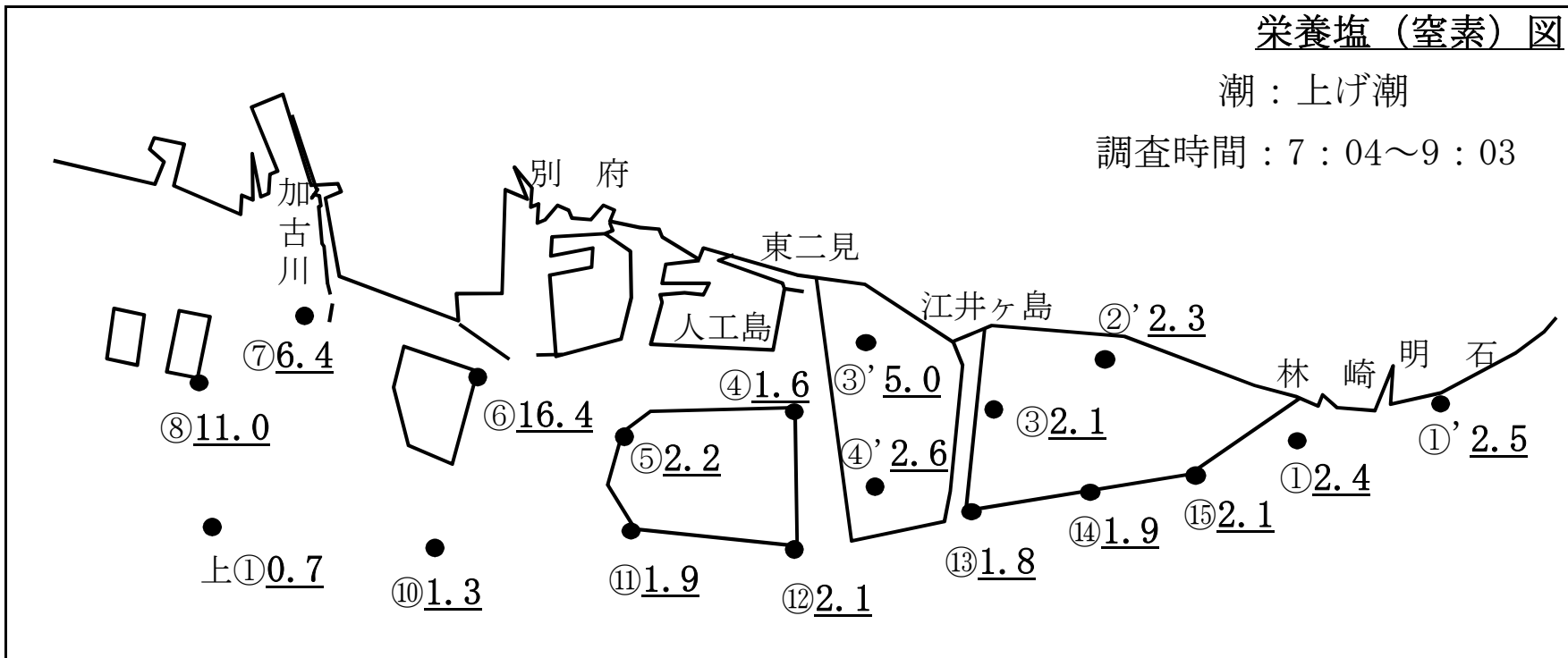
※別府・高砂漁場の値により
 漁場平均値が高くなっています。

平成31年 3月22日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:04~9:03



水温図

